

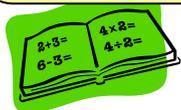
はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2018年8月発行

6月の大阪府北部の地震に次いで、7月には西日本を中心とした豪雨と、大きな被害をもたらす自然災害が立て続けに起き、自然の力の恐ろしさを痛感しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

これから台風シーズン本番です。日ごろから身近にある危険個所の確認や防災減災に対する知識や心構えなど、家族で話しておくことも大切です。



平成30年版「男女共同参画白書」が公表されました！

毎年、6月の「男女共同参画週間」に合わせて政府が発表する「男女共同参画白書」が公表されました。今年度の特集は、「スポーツにおける女性の活躍と男女の健康支援」です。

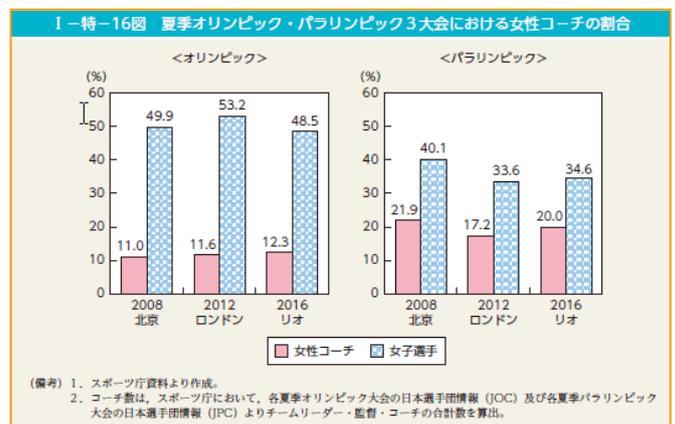
今回の特集では、オリンピック・パラリンピック競技大会を中心に、スポーツ分野における女性活躍の歩みと現状が報告されているとともに、女性アスリートやその支援者を取り巻く課題や取組が明らかにされています。また、男女の健康について理解を深めることを目的として、特に女性がライフステージごとに直面する健康上の課題や性差医療、医療分野の女性参画の状況等についても取り上げられています。

【スポーツにおける女性の活躍と課題】

オリンピック出場選手に占める女子選手の参加割合（世界）は、夏季・冬季大会ともに増加傾向にあります。また、オリンピック日本選手団に占める女子選手の割合は、夏季大会では、近年、おおむね半数で推移し、2016年リオ大会では48.5%でした。冬季大会では、2014年ソチ大会で初めて5割を超え、2018年平昌大会では58.1%と過去最高となっています。それに比べ、パラリンピック出場選手に占める女子選手の参加割合（世界）は、夏季大会では増加傾向である一方、冬季大会では2割程度にとどまっています。パラリンピック日本選手団に占める女子選手の参加割合は、夏季大会では、近年3～4割程度で推移しており、冬季大会では、2014年ソチ大会で過去最高の3割となったが、2018年平昌大会では13.2%に低下しています。

このように女性アスリートの活躍が進む一方で、様々な課題も明らかになってきています。女性アスリートの場合、妊娠等を機に現役を引退されるケースが多いですが、日本でも近年、育児をしながら競技生活を続けたいと考える女性アスリートが増えてきています。しかし、育児と競技との両立について、今の競技環境でどの程度支援を受けられると思うかを尋ねたところ、「大会での託児所、チャイルドルームの設置」は8割近くが、「妊娠期、産前産後期のトレーニング方法の紹介」は7割超が「ほとんど支援されない」と回答しています。また、指導者に占める女性割合の現状をみると、最近の夏季3大会における日本選手団のコーチに占める女性の割合は、オリンピックで10%程度、パラリンピックで20%程度となっており、いずれも選手団に占める女子選手の割合を大きく下回っています。

今回取り上げた内容以外にも、女性アスリートの生の声や、メダルの獲得数の推移、アスリートの経済的な課題などが取り上げられ、スポーツに関心のある方には興味を引く内容になっていると思われますので、手に取ってみてはいかがでしょうか。男女共同参画白書については内閣府ホームページ (<http://www.gender.go.jp/>) をご覧ください。



平成30年版男女共同参画白書より

女性自治会長さん インタビュー

6月の情報紙「はもりあ」でも掲載させていただきましたが、今年度、はもりあ四日市では、地域のリーダーとして活躍していらっしゃる女性自治会長さんに、お話を伺い、みなさまにご紹介しております。

第2回目は、常磐地区石塚町三区自治会長の倉本知子さん、日永地区泊山崎町中部自治会長の清水汐子さんのお二人にお話を伺いました。

Q1:自治会長になったきっかけ Q2:自治会長として大変に思うこと、また心がけていること
Q3:地域活動の中で女性の参画状況 Q4:自治会長をして良かったこと、これからに向けてメッセージ

常磐地区石塚町三区自治会長
倉本知子さん

A117年目に入ります。もともとは二区でしたが、世帯の増加に伴い、単一自治会では住民の声を行政に届けにくいということもあり三区に分けました。当時二区で副会長をさせていただいておりましたので、そのご縁で三区の自治会長を引き受けました。

A3女性の役員の割合は多い地区だと思います。地域や自治会行事においても女性の参加が多く、大変協力的ですね。活動の中で女性が少ないと感じたことはないですね。



A2以前は、路上駐車や車上荒らし、空き巣などがありました。今は夜でも安心して歩けるように、防犯灯を多く点け、防犯カメラも設置しています。やはり自分たちの地区が安心安全で住みやすい、ここに住んでよかったと思えるようなまちづくりをしていかないといけないと思います。敷居の高い自治会ではなく、意見が言いやすい、相談しやすい自治会を目指しています。“自治会長だから”と気負わないで声を聴く耳をもつことを心がけています。

A4自治会に関わっていなければ、知りえない方々との出会いがあり、勉強させていただく機会にも恵まれ、自分の視野が広がりました。やって良かったと思います。

日永地区泊山崎町中部自治会長
清水汐子さん

A14年になります。きっかけは、前の方が任期を終えられる時に、次に誰もなり手がなかったんですね。そんな時に、仲良しの方が一緒にやろうと声をかけてくれて、歴代の自治会長は男性だったので一度、“女性がやってみても出来る”というか、今は、働いている方も多いので、“働きながらでもやれる”という形を示すというか試したいというのもありましたね。

A3組長は女性が多いですね。自治会長が女性なので、聞きやすいのか会議も元気ですよ。女性も底上げにがんばらないとね。潜在的に色々な形の力をもっている女性も多いと思うんですね。今の若い世代の方は、性別に関係なく協力してくれますが、やはり、女性だけでもダメだし、男性だけでもダメですよ。お互いが協力していくことが大事ですよ。



A2うちの地区は、温厚というか、おだやかな町で、みんな仲良く、あまりトラブルもない、まあまりのある町だと思います。大変なことと言うのも思い様で、楽しくやればいいと思っていて、自治会の仕事も、目線を低くして、みんなと一緒にのところに立ち、何をやるにしても楽しくやれるように心がけています。

自治会長は、ある意味で雑用係とか整理係だと思っています。

A4地域の人と仲良くなれたこと、自分自身が意欲的になったことでしょうか。もともと興味津々で何でも挑戦したい性格なのですが、自分の住んでいる町に関心をもって、住みやすい様にしてほしいです。大人ががんばっている姿を子どもが見ることによって次の世代へつながっていくのではと思っています。

今回のインタビューでは、お2人とも、自治会長として、楽しみながら自治会活動に取り組んでいらっしゃる様子が印象的でした。貴重なお時間をありがとうございました。第3回は11月です。お楽しみに。

相談室 から

女性のための自己尊重講座 全5回

募集中

ありのままの自分に自信を持つために



あなたの思いや気持ち、言葉で表現できていますか？
人とうまくやるために言わない、
ということ優先していませんか？
私の思いや気持ちを言葉で表現することは、
私を大切にすることなのです。

	日付	時間	内容
第1回	9/29 (土)	10:00 ~ 12:00	「はじめまして！仲間との出会い」 ～人の中での私～
第2回		13:00 ~ 15:00	「自分を大切にできていますか」 ～自分を尊重することを学ぶ～
第3回	10/6 (土)	13:00 ~ 15:00	「私が言いたいことは」 ～なぜ気持ちを言葉にできないか気づく～
第4回	10/13 (土)	10:00 ~ 12:00	「自己表現してみましよう」 ～言葉にできることで自信が持てる～
第5回		13:00 ~ 15:00	「自分らしく生きる」 ～自分も他者も大切に生きる生き方～

講師

石田ユミさん
フェミニストカウンセラー
臨床心理士

個人カウンセリング、グループカウンセリングに携わり、各地の女性センター等で、女性のための自己発見・啓発のための講座やDV研修、相談員養成講座・研修の講師や相談員スーパーバイザーを務める。

場所本町プラザ5階 第3会議室
対象全5回参加できる市内在住・通勤・通学の女性
はじめて受講される方を優先します。
定員30人 定員になり次第×切
参加費 無料
弁当9月29日、10月13日の弁当の注文を受け付けます。
託児有（6カ月から小学3年生程度まで）無料・先着10人程度
9月4日(火)までにお申し込みください。
申込住所・名前・電話番号・託児の有無（託児希望の場合はお子さんの名前と年齢）を、電話かFAXかメールで「はもりあ四日市」へ

今月のキーワード

アンパイドワーク

「アンパイドワーク」とは、訳すと無償労働といい、家事や育児・介護など主に家庭内で行われるものや、ボランティア活動など賃金や報酬を伴わない労働のことをいいます。

特に家事労働は、シャドーワークとも言われ、「人間が生活していくうえで、必要不可欠なものでありながら、対価を受けない労働」の典型とされています。これらは、社会の評価を受けにくいものであり、また、女性が担っていることが多いため、女性の社会進出を妨げ、経済力において、男性との格差の原因になるとも言われています。

内閣府が発表している無償労働の貨幣評価額に占める女性の構成比は、評価方法で多少差がありますが、1981年は女性が9割以上を占めていたのが、2011年には女性が8割と、男性の割合が少しずつ増えてきているものの、まだまだ女性が多いのが現状です。

アンパイドワークは、共働きでも、そうでない場合でも、どちらか一方だけがするというものではありません。無償労働の社会的評価を高め、男女で有償労働と無償労働をバランスよく担っていくことが、男女共同参画社会の実現には必要ではないでしょうか。

男女
共同

さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。
もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

～#MeToo 運動は、ピューリツァー賞やノーベル文学賞にも影響したが、日本では？～

#MeToo（ハッシュタグミートゥー）は、「私(me)も(too)」を意味した言い回しで、権威を笠に着たセクシャルハラスメント（性的嫌がらせ）を告発する運動です。昨年10月にハリウッドの映画プロデューサーのセクハラ疑惑が報じられたことを受け、一人の女優が同様の被害を受けた女性たちに「me too」と声を上げるようTwitterで呼びかけたことが発端となり、世界中に拡がりました。

米国映画界での多くの女優のセクハラ被害を報道したニューヨーク・タイムズ紙と雑誌ザ・ニューヨーカーがピューリツァー賞を受賞しました。また、ノーベル文学賞の選考主体であるスウェーデン・アカデミーは、メンバーの夫の女性へのセクハラや性的暴行疑惑などの発現から、今年受賞者の発表を見送ることにしました。

日本では、女性ジャーナリストの準強姦被害の告発、女性作家が広告代理店で受けたセクハラ証言、財務事務次官のセクハラ発言などがあり、保護されるべき被害者が、まだ一部では「面倒ごとを起こした当事者」とされてしまう懸念があるように思います。皆さんはどう思われますか。【性的暴力に声を上げる女性の勇気を称えたいH】

予告

さんかくカレッジ2018 市民企画講座 開催決定!

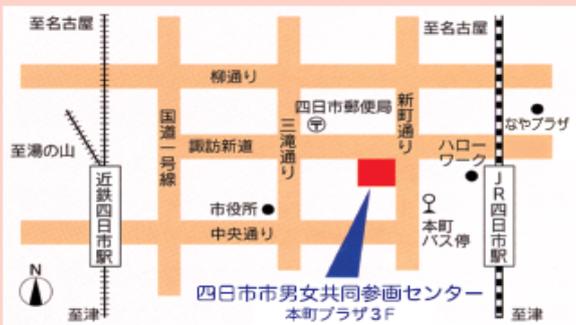
全6団体

はもりあ四日市では、例年、男女共同参画社会の実現に協力・賛同されている市民活動団体の皆さんが企画・運営する「さんかくカレッジ 市民企画講座」を行っており、今年度は**6団体**による企画に決まりました。講座内容など詳しくは、今後の「情報紙はもりあ」や「広報よっかいち」などでお知らせします。是非ご参加ください!

NPO法人四日市男女共同参画 研究所 企画	ヨガサークルガレット 企画	四日市友の会 企画
<p>【講座タイトル】 「人生 100 年時代と地域(まち)」 --変化と希望のモデルに学ぶ--</p> <p>【日にち】9月~11月(全3回) 【定員】40名 【参加費】3回通し1,000円</p> <p>詳細は、広報よっかいち8月下旬号をご覧ください。</p>	<p>【講座タイトル】 主役はパパ!?ママ!?子育てが 楽しくなるリフレッシュ講座♪</p> <p>【日にち】10月~12月(全3回) 【定員】20名 【参加費】3回通し1,000円</p> <p>詳細は、広報よっかいち8月下旬号をご覧ください。</p>	<p>【講座タイトル】 暮らしのステップアップ講座 “家族をまきこむ家事のコツ”</p> <p>【日にち】 10月~平成31年1月(全4回) 【定員】10組(1人での参加可) 【参加費】 大人1,000円、子ども500円</p>
セパ三重 企画	NPO法人体験ひろば☆こども スペース四日市 企画	明日の地域医療を考える住民の 会 あした葉 企画
<p>【講座タイトル】 「ほめ日記」講座&命の声を聴く 自己尊重トレーニング</p> <p>【日にち】11月~12月(全3回) 【定員】30名 【参加費】3回通し1,000円</p>	<p>【講座タイトル】 こんなに違う! 世界の子育て・世界の保育</p> <p>【日にち】 平成31年2月(全3回) 【定員】30名程度 【参加費】3回通し1,000円</p>	<p>【講座タイトル】 介護を楽しく</p> <p>【日にち】 平成31年1月~3月(全4回) 【定員】24名 【参加費】4回通し1,000円</p>

◎◎◎あとかき◎◎◎

一年の中で最も暑さが厳しい8月は、各地で行事やイベントが沢山あるエキサイティングな月です。恒例の全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園)に加えて、今年は45年ぶりに三重県で全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が開催されます。市内では、テニス、サッカーの2競技が新しい施設で行われるので、観戦したいと思っています。皆さんは、この夏をどう楽しみますか。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml